

INGING
MOTORSPORT[®]



NEWS PAPER

Take Free!

SUPER FORMULA 2022

PMU/CERUMO-INGING Race Report



Today's Race Rd.3

Suzuka Circuit
4.23 SAT / 24 SUN

@Race Archive Rd.1 & Rd.2 Fuji Speedway

勇者 燕たちの開戦

Vol. 2

@Race Archive Rd.1 FSW レースアーカイブ Round.1 富士スピードウェイ

大混雑の中 双方、好スタート

スタートでは、ポールポジションだった #15 笹原京子がストール。後方は笹原車を避けるために右に左への混雑となるが、そんな中 12 番手グリッドの坪井は悪くないスタートを決め TGR コーナーに入っていく。ただ、TGR コーナーは大混雑。各所で軽い接触が起きており、坪井は慎重に位置取りをしながらターンインしていくが、続くコカ・コーラ・コーナーまでの間に複数台にかわされてしまった。その中の1台は、16 番手グリッドから好スタートを決めた阪口だ。1 周目、2 台は 12 番手に阪口、13 番手に坪井というオーダーで、前を走る #65 大湯都史樹を追う展開となった。

チームメイト 同士のバトルへ

1 周目からコース各所で接触、スピン等が起きるなか、2 台は集団のなかで前をうかがっていく。先に動いたのはフィーリングの良さを感じていた坪井で、9 周目の最終コーナーで立ち上がりを含めた坪井は、阪口と並走。8 周目を過ぎたあたりからタイヤの厳しさを感じていた阪口に対しチームメイト同士のバトルを展開し、坪井が 10 周目に 12 番手に浮上。阪口は 13 番手につける。そんななか、10 周目にはピットウィンドウがオープンする。そのタイミングでタイヤが厳しくなりはじめた阪口はピットイン。タイヤ交換を行った。一方坪井は、ペースの良さを活かすべくステアアウト。ライバルたちがピットインしていきコース上が開けていくなか、高いペースを保ちながら走り探っていた。

スタートでは、ポールポジションだった #15 笹原京子がストール。後方は笹原車を避けるために右に左への混雑となるが、そんな中 12 番手グリッドの坪井は悪くないスタートを決め TGR コーナーに入っていく。ただ、TGR コーナーは大混雑。各所で軽い接触が起きており、坪井は慎重に位置取りをしながらターンインしていくが、続くコカ・コーラ・コーナーまでの間に複数台にかわされてしまった。その中の1台は、16 番手グリッドから好スタートを決めた阪口だ。1 周目、2 台は 12 番手に阪口、13 番手に坪井というオーダーで、前を走る #65 大湯都史樹を追う展開となった。



公式予選終了から 4 時間弱のインターバルを経て、いよいよ 2022 年の開幕戦となる第 1 戦の決勝レースを迎えた。午後 1 時 40 分からのウォームアップでは、坪井が 1 分 25 秒 172 をマークし 8 番手。阪口が 1 分 25 秒 640 をマークし 12 番手に付け、決勝に向けての準備を進めた。気温 23 度、路面温度 30 度とこの時期にしてはかなり暖かなコンディションではあったが、やはり風が強い。メインストレートでは追い風で、レースにどんな影響を及ぼすかも気になる。2022 年から行われることになったさまざまなプロモーションやスタート進行をこなしながら、午後 2 時 30 分からの決勝を迎えた。

坪井、果たすべき仕事をこなす

41 周という長丁場のレースで、首位まで順位を上げた坪井は 28 周を終えてピットに向かう。チームはきっちりとタイヤ交換をこなし、坪井を送り出した。ピットアウト後、坪井はフレッシュなタイヤで 9 番手を走行。前を走る #3 山下健太はタイヤが苦しくなってきたか、少しずつ坪井はギャップを詰めていくことに成功した。坪井は 32 周目、山下をかわし 8 番手に浮上。さらに #65 大湯と 7 番手を争っていくが、36 周目には一度坪井が前へ出るも、翌周ふたたび大湯が先行とバトルを展開する。ただその後再逆転はならず、坪井は 8 位でフィニッシュ。貴重な 3 ポイントを得た。チャンピオン争いをするためには、苦しいときでもポイントの取りこぼしは厳禁。その意味で坪井は、しっかりと今日果たすべき仕事をこなして見せた。一方の阪口は、10 周目のピットアウトの後、31 周という長いステントをこなしていくが、#18 国本雄資を従えながらラップを重ね、タイムの浮き沈みとその原因を探りながら周回。終盤、#3 山下に近づいたが、3.168 秒差の 12 位でフィニッシュすることになった。

38 坪井翔 予選 12位 決勝 8位 39 阪口晴南 予選 16位 決勝 12位

Results



勇者たちの開幕戦

トラブルから始まった週末ということもあり、それが最後まで響かたちとなってしまった P.MU/CERUMO-INGING。坪井がテストの好調さを繋げられなかった原因、また阪口の不調はなんとしても改善したいところ。第 2 戦はすぐ、2 週間後に鈴鹿サーキットで開催される。時間はそれほどあるわけではないが、チームは一丸となって次戦での復調を目指していく。



@Race Archive Rd.2 FSW

後方からレース 序盤を戦うことに

11 番手からスタートした坪井だったが、スタートは良いものではなく、集団に飲まれてしまう。前日クラッチに違和感を抱えたまま臨んだが、その影響が 2 戦連続で 1 周目にポジションを落とすかたちとなってしまい、気づけば 17 番手。2 周目に 1 台をかわしてきたものの、同じくあまり良いスタートではなかった阪口が坪井の後方につけ、P.MU/CERUMO-INGING の 2 台は集団の後方からレース序盤を戦うことになってしまった。そんな中、1 周目の激しい攻防のなかダンロップコーナーで #50 松下信治と #5 牧野任祐が接触。牧野車がコース上にストップし動けなくなってしまったことから、レースはセーフティカーが導入される。このセーフティカーは 5 周目に退去しリスタートを迎えるが、その直前に坪井は 2 ポジションを上げたが、フィーリングは前日に比べても良いモノではなかった。路気温の変化によるものかは不明だが、そのまま第 1 戦と同様コース上にステイ。前を走るライバルがピットに向かっていくなか、ドライビングと格闘しながらピットインを遅らせる作戦に出た。

Ummm

両者 苦闘の決勝

ただ、集団から抜け出すほどの好フィーリングが今日の坪井にはなかった。坪井は 38 周目に #53 佐藤運をかわしたものの、集団のなかでなかなか上位へうかがうチャンスを掴めないまま、41 周のチェッカーフラッグを受けた。また阪口は苦闘を続けたまま 17 位でフィニッシュ。P.MU/CERUMO-INGING の 2 台は、第 2 戦ではポイントを獲得できずレースを終えることになった。



を感じてはいたが、ペースはあまり上がらない。それでも第 1 戦同様浮上へのきっかけを得るべくあきらめずにコースへ戻り、#14 大嶋和也を従えながらラップを重ねていった。坪井は続々とライバルたちがピットインし、前が開けていくなかラップを重ね、26 周目にピットイン。コースに復帰すると順位は 14 番手。28 周目に 1 分 24 秒 864 という自己ベストをマークし、#64 山本尚貴を追うと、30 周目にオーバーテイク。13 番手につけた。6 番手以下は僅差で、まだまだポイント獲得のチャンスはあった。



苦闘の走り ポイント獲得なるか

一方、阪口は前日同様 10 周目にピットウィンドウがオープンするとともにピットイン。タイヤ交換を行った。阪口は前日得られたデータをもとに改良を加え変化を感じてはいたが、ペースはあまり上がらない。それでも第 1 戦同様浮上へのきっかけを得るべくあきらめずにコースへ戻り、#14 大嶋和也を従えながらラップを重ねていった。坪井は続々とライバルたちがピットインし、前が開けていくなかラップを重ね、26 周目にピットイン。コースに復帰すると順位は 14 番手。28 周目に 1 分 24 秒 864 という自己ベストをマークし、#64 山本尚貴を追うと、30 周目にオーバーテイク。13 番手につけた。6 番手以下は僅差で、まだまだポイント獲得のチャンスはあった。



ただ、集団から抜け出すほどの好フィーリングが今日の坪井にはなかった。坪井は 38 周目に #53 佐藤運をかわしたものの、集団のなかでなかなか上位へうかがうチャンスを掴めないまま、41 周のチェッカーフラッグを受けた。また阪口は苦闘を続けたまま 17 位でフィニッシュ。P.MU/CERUMO-INGING の 2 台は、第 2 戦ではポイントを獲得できずレースを終えることになった。

Results 38 坪井翔 予選 11位 決勝 12位 39 阪口晴南 予選 15位 決勝 17位

GET!!
応援グッズ付き指定席観戦券 発売中!!

チームグッズと観戦券がセットになって登場!! セルモ・インギングをGETして応援しよう!!
大人 5,400円 子供 4,300円 幼児 3,100円 ※各12種類